

語りきれないことを 語ろうとすること

マザリング

現代の母なる場所

中村佑子



ただ、生きていてほしい——。

揺らぐ命に寄り添う母の、孤独と疎外感。
この社会で不可視化される、「弱き身体」の居場所とは？

記録されてこなかった妊娠出産期の経験をすくいあげ、「母」の定義を解体し、
いまを生きる人々の声から、ケアをめぐる普遍的思考を紡ぐ。

集英社

安藤桃子さん、若松英輔さん 推薦！

中村佑子 × 柴崎友香

1977年東京都生まれ。映像作家。現実世界のもう一枚深い皮層に潜るようなナラティブのドキュメンタリーを多く手がける。作品に『はじまりの記憶 杉本博司』（2012年）、『あえかなる部屋 内藤礼と、光たち』（2015年）など。2020年12月に初の単著『マザリング 現代の母なる場所』（集英社）を出版。

1973年大阪生まれ。小説家。2000年に『きょうのできごと』（河出文庫）を刊行、同作は2003年に映画化される。2010年『寝ても覚めても』（河出文庫）で野間文芸新人賞、2014年『春の庭』（文春文庫）で芥川賞受賞。街や場所と記憶や時間について書いている。

オンライン
トーク

日程：2021年5月22日（土）17時～18時30分
会場：Zoom 参加費：無料 定員：先着100名
申込：図書館HPより。4月21日から受付開始

* 事前にZoomのアプリをダウンロードしていただく必要があります。
* 申込受付後とZoom登録後に、メールが届きますので受信設定の確認をお願いいたします。